

Press Release



新聞発表

GMG、独自のカラーマネジメント技術を IPEX2010 で展示。

～デジタル、ラージフォーマット、パッケージ、オフセット用途を網羅～

ドイツ、テュービンゲン(2010年2月10日発行): 高品質カラー・マネジメントとブルーフィングで業界をリードする GMG 社は、来る IPEX2010 で、パッケージや商業印刷向けに、同社のデジタル、ラージ・フォーマット・プリンティング分野の革新的カラー・マネジメント技術をデモ展示する。

同社スタンドは第9ホール、スタンド番号 9-E322。

GMG 社は今回、最新のソフト、GMG SmartProfiler に焦点を当て、その優れた機能を紹介する。このソフトを使うと、ユーザーは個々のカラー・プロファイルの作成とデジタル、ラージ・フォーマット・プリンティング用のプリンター・キャリブレーションを行うことが出来、その結果、最高レベルのカラー精度、再現性、安定性を実現することが出来る。

デジタルやラージ・フォーマット・プリンティングではますます、色の精度と再現性の向上が求められており、オフセット、グラビアなどの本刷りととのカラーマッチングはより重要になっている。

たとえばオフセット印刷とそれを補充するデジタルプリンティングというような使われ方が増えつつあり、この場合、とりわけ大事なことは、どちらの方式でも、出てくる印刷物は同等でなければならないということである。受けた仕事を複数の印刷機やプリンターを同時に並行して運転する場合も、同じである。

GMG SmartProfiler は GMG のカラーマネジメントの中核ソフトである GMG ColorServer のオプションとして用意されている。

Press Release



GMG ColorServer を使うことにより、どのようなタイプの色変換をも行え、どの印刷プロセスに関わらず、生産性、安定性、色品質の大幅向上を可能とする。

フレキソやパッケージ印刷では、最高レベルのパッケージ・プルーフやモックアップの作成を容易に実現することになる。この GMG ColorServer と SmartProfiler に株式会社ミマキエンジニアリングの UJF-605 UV インクジェット・プリンターを組み合わせるとシュリンク、金属フォイル、缶、段ボールなどに最終媒体にプリントし、正確な色品質のモックアップを作成することが出来、加えて白インク、ワニス仕上げも可能である。

ミマキ社の塗料が極めて耐久性と品質が高いことから、最終製品の代わりに試用することも可能である。このような使い方は、本機で試作を作る以外には出来なかった。

GMG プルーフィング・ソフトウェアとセイコーエプソン株式会社の新製品 Epson Stylus Pro WT7900 白インク・プリンター（日本名 PX-W8000）の組み合わせは透明媒体やメタリック・フォイル上にコントーン、ハーフトーンのプルーフを作成するのに最適である。Epson Stylus Pro WT7900 のプリンタードライバーには GMG の最新カラー・マネージメント技術が搭載され、このプリンターのガモット（色域）を最大限、使うことが出来ることになった。スポット・カラーやフレキソ、オフセット、グラビアのホワイト・シミュレーションにも使用出来る。

IPEX2010 では、GMG 社は過去最大のソフト・ウェアの品揃えを展示する。このソフト・ウェア製品群はプリプレスから印刷まで全てをカバーし、色と印刷の標準化の実現するものである。

この印刷の標準化はどのような方式であれ、今日、どの印刷会社にとっても、益々重要性を増しつつある。カラースタンダードを一律にし、インクを削減し、印刷工程を管理し、標準化することにより、製版から印刷まで全体の生産性や効率は驚く程、向上する。GMG 社では、これに焦点を当てた、非常に効率的で使い勝手に優れたソフトウェア、GMG InkOptimizer や GMG PrintControl と RapidCheck を実演する。

GMG のソフトウェアは GMG 技術パートナーのスタンドでも展示・実演されている。

Press Release



Hewlett Packard (第 12 ホール, スタンド番号 AB150) では同社の様々な UV インクジェット・プリンターと GMG ColorServer、SmartProfiler の組み合わせを展示、
Roland DG (UK) (第 12 ホール、スタンド番号 C140) では Versa UV LEC-330 UV インクジェット・プリンターを、Canon Europe (第 10 ホール、スタンド番号 CDEF270) ではハイエンド・デジタル・プルーフイング・システムを実演。Epson (第 10 ホール、スタンド番号 C260) では新製品 Epson Stylus Pro WT7900 (日本名 PX-W8000) インクジェット・プリンターのパッケージ用途向けの実演を行う。

– End –

GMG について: 1984 年創立されたソフトウェア会社である GMG は、ドイツのシュトゥットガルト近郊にあるチュービンゲンに拠点を置き、フランス、スペイン、ベネルックス、北欧、英国、アジアおよび南北アメリカに現地法人を設立し、世界的販売ネットワークを築いています。GMG は、グラフィックアーツ産業界全体を対象としたハイエンドのカラーマネージメントに特化しています。これまで、10,000 件を超えるシステムが、広告代理店を始め、製版会社、オフセット印刷会社、新聞会社、フレキソ印刷加工会社、そして国際的なグラビア印刷工場に至るまで、業界全領域に渡り販売されてきました。実際、GMG ColorProof システムは、ヨーロッパの広範囲なグラビア印刷産業界では、事実上業界標準になっています。

GMG 製品ファミリーについて: カラーマネージメントソフトウェアシステム GMG ColorProof は、デジタルインクジェットプルーフ機を最も正確にキャリブレーションする方法を提供します。これにより、印刷機に厳密に適合したデジタルコントラストプルーフの作成が行えます。GMG DotProof[®]は、出力 RIP のオリジナルのビットマップデータを使用して、校正用高品質網点プルーフの作成を可能にします。特にパッケージング業界のニーズに対応するために開発された GMG FlexoProof は、特定のフレキソファイル形式をサポートしており、完全な Pantone[®] スポットカラー・ライブラリ、並びにその他機能を搭載しています。GMG ColorServer は自動色変換用ツールです。CMYK から CMYK、RGB から CMYK、そして RGB から RGB へとより効率的なワークフローが実現します。GMG InkOptimizer は、有彩色を自動的に減少させることで、不必要なインク使用量を削減することで経費の節約を可能にし、印刷機上でのより優れた印刷安定性をもたらします。GMG ProofControl は、プルーフのカラー精度を瞬時に検証できる理想的なソリューションです。GMG PrintControl は、作業工程の開始から終了まで、印刷機の標準化を図るための単体ソフトウェアです。GMG RapidCheck は、マウスクリック 1 つで印刷工程を管理できる、検証ツールです。GMG Media は、最も一般的なインクジェットプリンタのための校正用ペーパーとフィルムの製品群です。様々なサイズが用意されており、カラーが重視されるアプリケーション用途に高特性を示すよう、製造されています。

© 2010 GMG GmbH & Co. KG. 本記述で使用されている GMG 製品名は、GMG GmbH & Co. KG の商標またはサービスマークであり、特定の管轄で登録されている場合があります。その他の社名、ブランド名、商品名およびサービス名は記述のみを目的としており、当該権利所有者の商標もしくは登録商標です。データは、予告なく変更される場合があります。

詳細は、次のホームページをご参照ください。 www.gmgcolor.com

Press Release



本件に関するお問い合わせは、下記までお寄せください。

GMG ジャパン株式会社
102-0073 東京都千代田区九段北 1-14-15 武千代ビル 4 階
電話 03-6272-6580 ファックス 03-6272-6581

メールアドレス: japan@gmgcolor.com